

# SBench6 ビギナーズガイド\_AWG(任意波形発生器)

この説明書は、SBench6 AWG の基本機能の説明を行っています。

必要なドライバ、Control center、SBench6 が既にインストールされていることを前提に記述されています。

また、下記のマニュアルも合わせて使用してください。

「an\_creating\_waveforms\_for\_awg」

「an\_creating\_waveforms\_for\_awg\_with\_sbench\_6」

「dn2\_66x\_datasheet\_english」

## 目次

1. PC を立ち上げた時の画面
2. Spectrum Control Center を起動した時の画面
3. NETBOX を接続する画面(カードの場合は、この操作は不要)
4. NETBOX を接続した時の詳細画面(カードの場合は、この操作は不要)
5. SBench 6 の開始画面
6. SBench6をスタートした時の画面
7. AWG 波形設定画面
8. <Easy Generator の場合> 波形、周波数の選択
9. <Easy Generator の場合> 波形の出力モードの選択
10. <Easy Generator の場合> サンプリングクロックを選択或いは設定
11. <Easy Generator の場合> 波形の出力タイミング(Trigger)の設定
12. <Easy Generator の場合> 出力信号のレベルの設定後に信号出力開始
13. <Function 設定の場合> AWG 出力波形の設定画面
14. <Function 設定の場合> 演算式と出力周波数に関して
15. <Function 設定の場合> Input Channel での生成波形の確認
16. <Function 設定の場合> 波形出力モードの選択
17. <Function 設定の場合> Sampling Clock の選択或いは設定
18. <Function 設定の場合> 波形の出力タイミング(EXT Trigger の例)の選択
19. <Function 設定の場合> External Trigger の設定の詳細
20. <Function 設定の場合> 生成波形の出力チャンネルへの反映
21. <Function 設定の場合> 信号の出力レベルの設定後に、信号出力開始
22. 別に格納された Export data(SBench6 フォーマット)の Import
23. 別に格納された Export data(SBench6 フォーマット)の格納場所
24. 別に格納された Export data(SBench6 フォーマット)を入力チャンネルに登録
25. 別に格納された Export data(SBench6 フォーマット)を Output Channel に登録
26. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)の Import
27. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)の格納場所
28. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)を入力チャンネルに登録するためのセットアップ
29. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)を入力チャンネルに登録
30. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)を Output Channel に登録

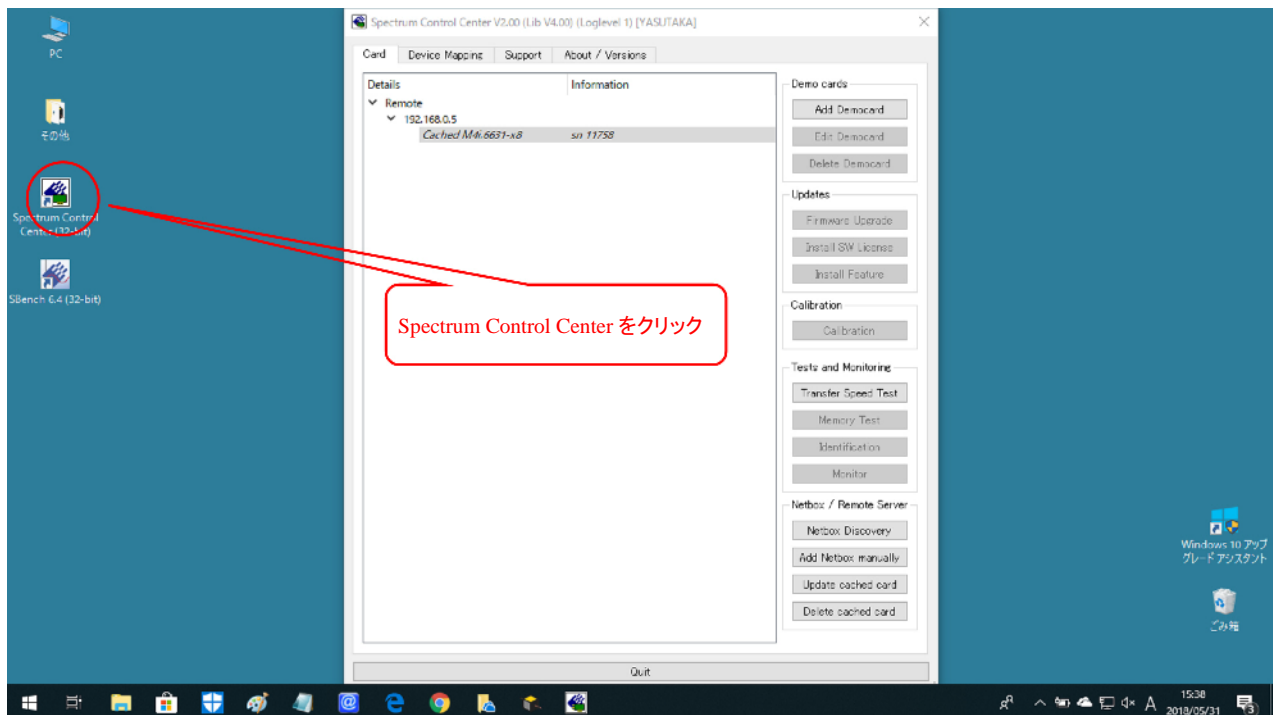
## 1. PC を立ち上げた時の画面

NETBOX と PC を LAN とで接続し、NETBOX の電源と PC の電源を順に ON します。  
下記のような画面が表示されます。

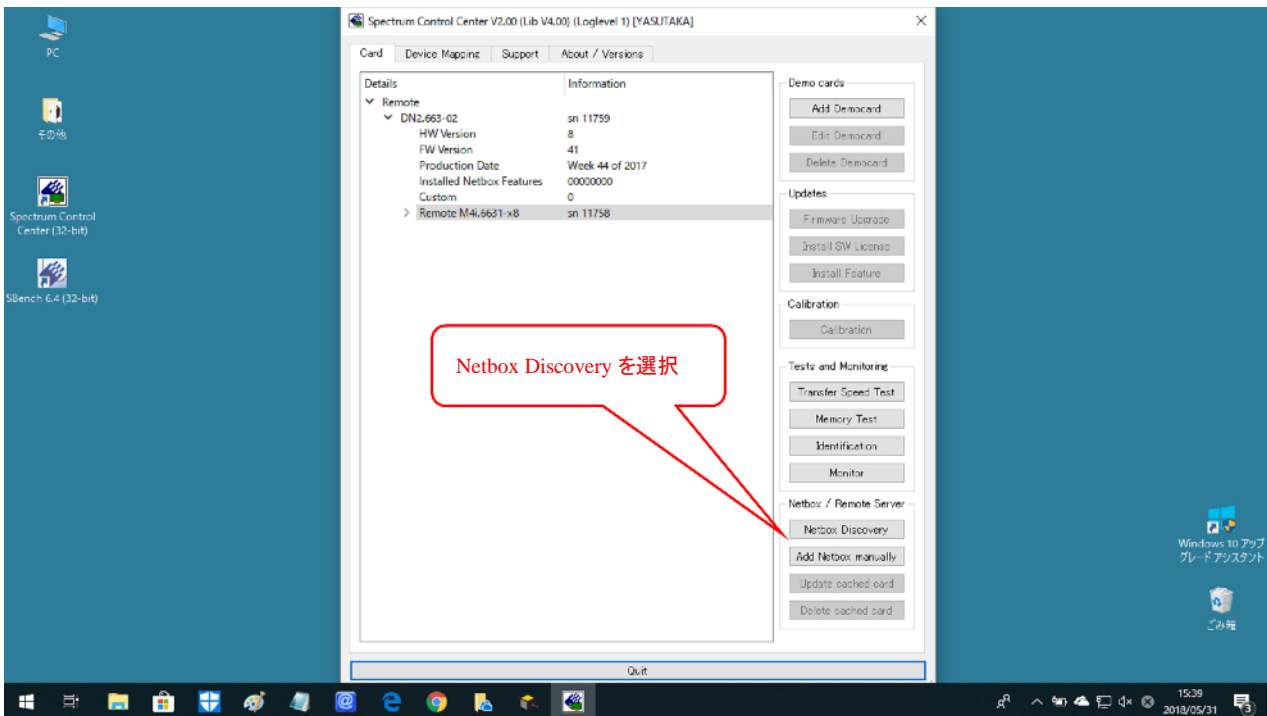


## 2. Spectrum Control Center を起動した時の画面

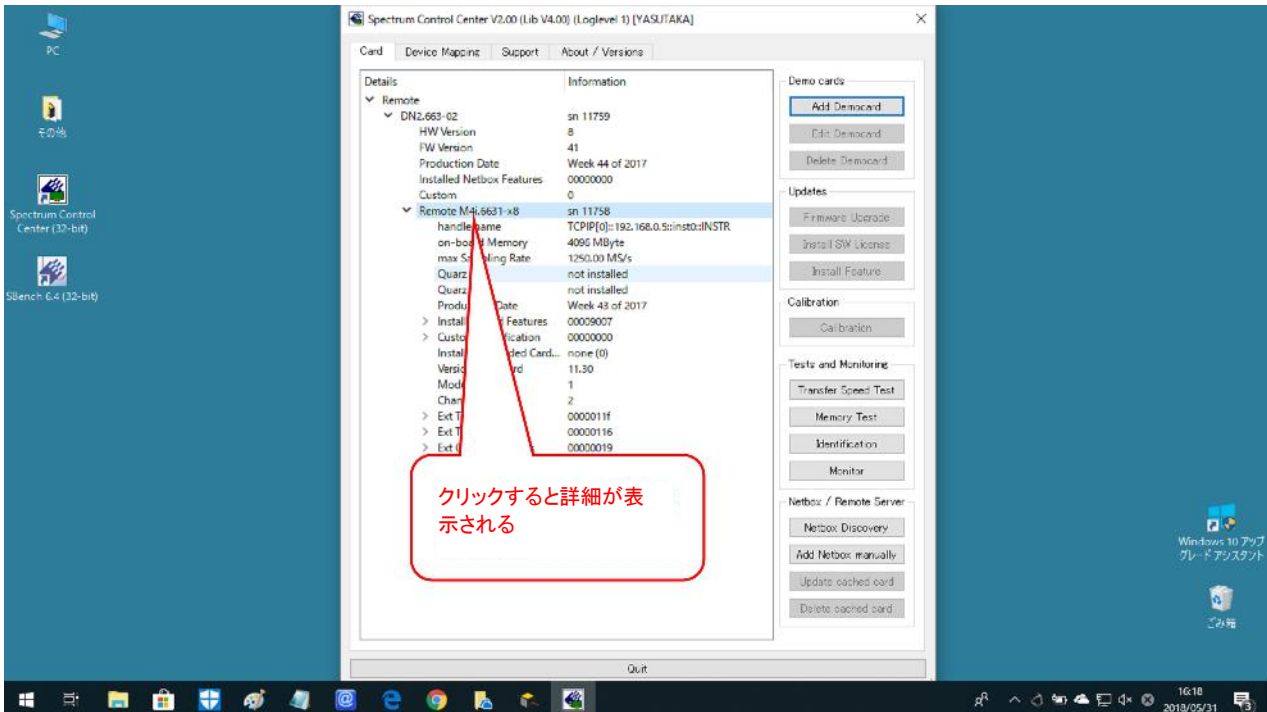
Spectrum Control Center 画面を起動すると下記の画面が表示されます。



3. NETBOX を接続する画面(カードの場合は、この操作は不要)  
Netbox Discovery をクリックすると下記の画面が表示されます。

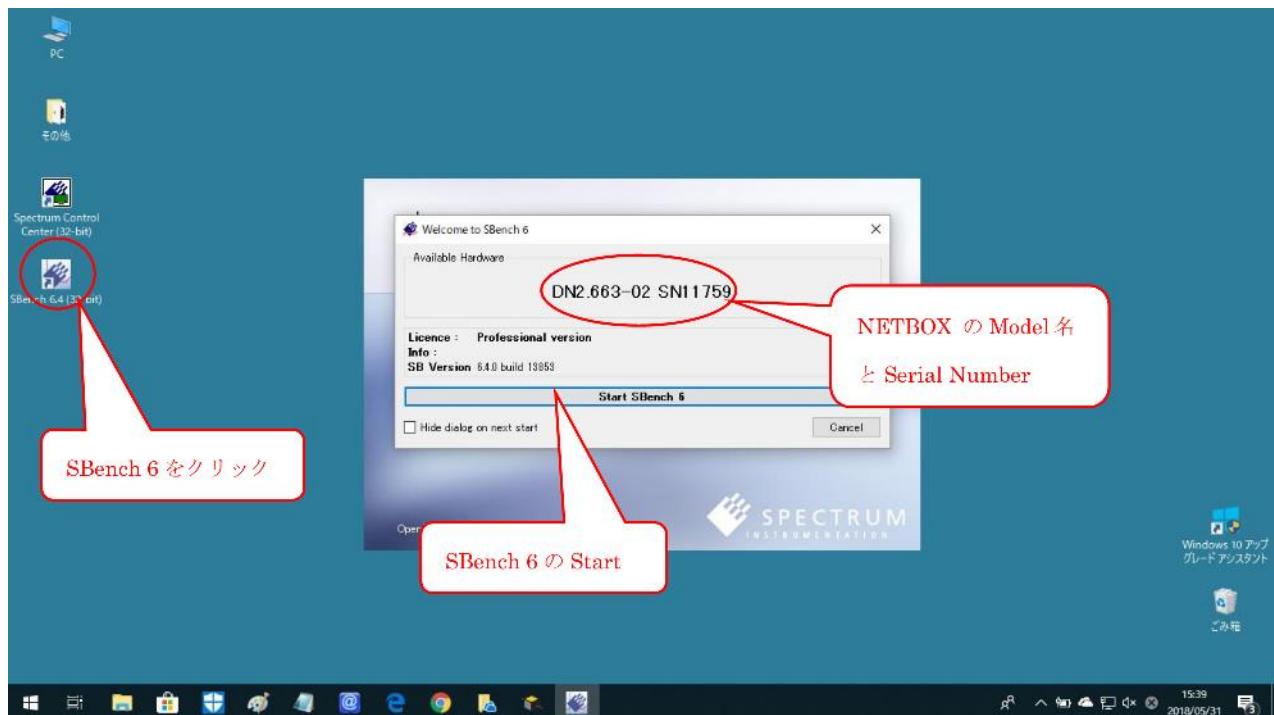


4. NETBOX を接続した時の詳細画面(カードの場合は、この操作は不要)  
Netbox Discovery をクリックして、接続された時の詳細画面です。



## 5. SBench 6 の開始画面

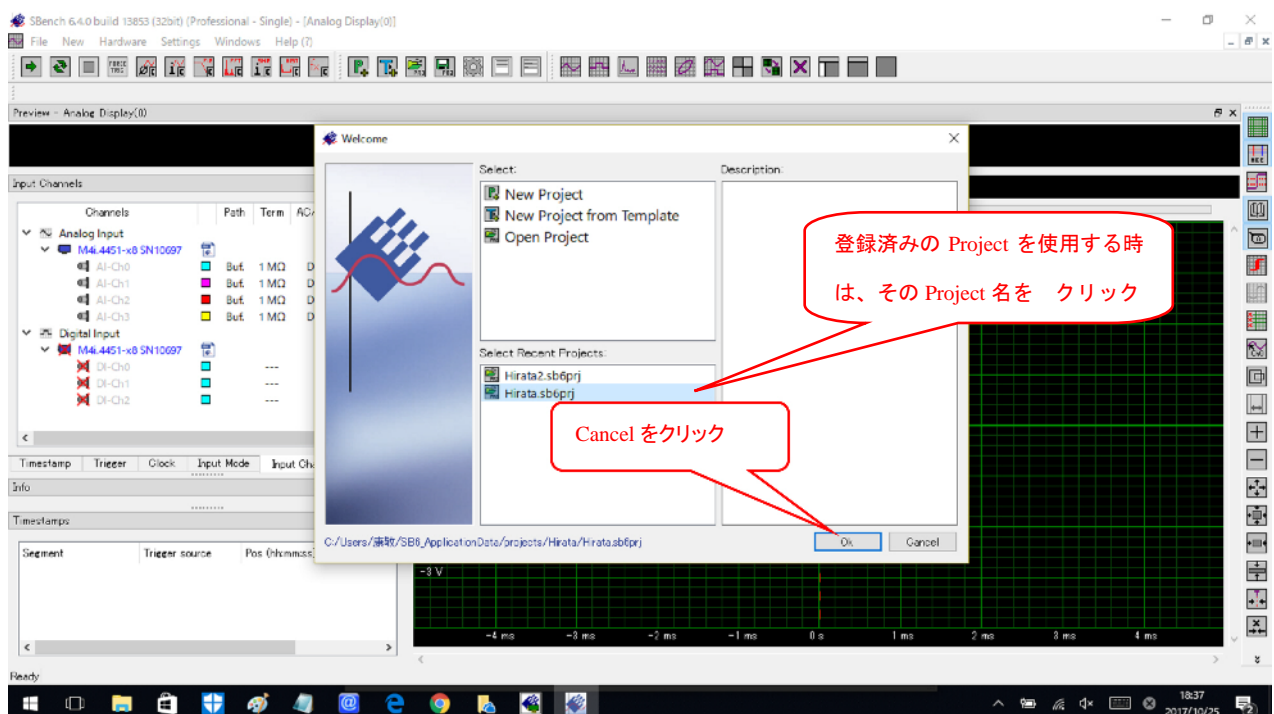
SBench6 をクリックすると下記の画面が表示されます。



## 6. SBench6をスタートした時の画面

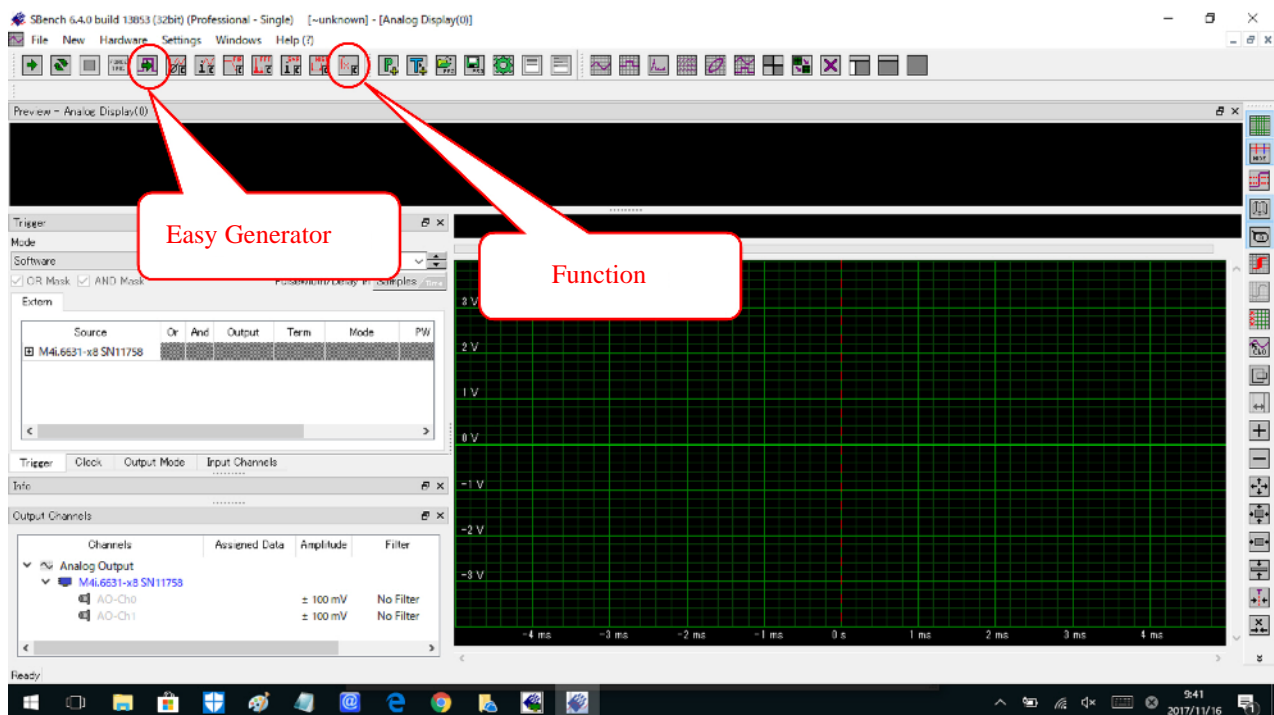
SBench6をスタートすると、下記の Welcome 画面が表示されます。

初期設定の場合、或いは Project を登録しない場合は、Cancel をクリックします。  
この場合は、Project 名は、~unknown と表示されます。

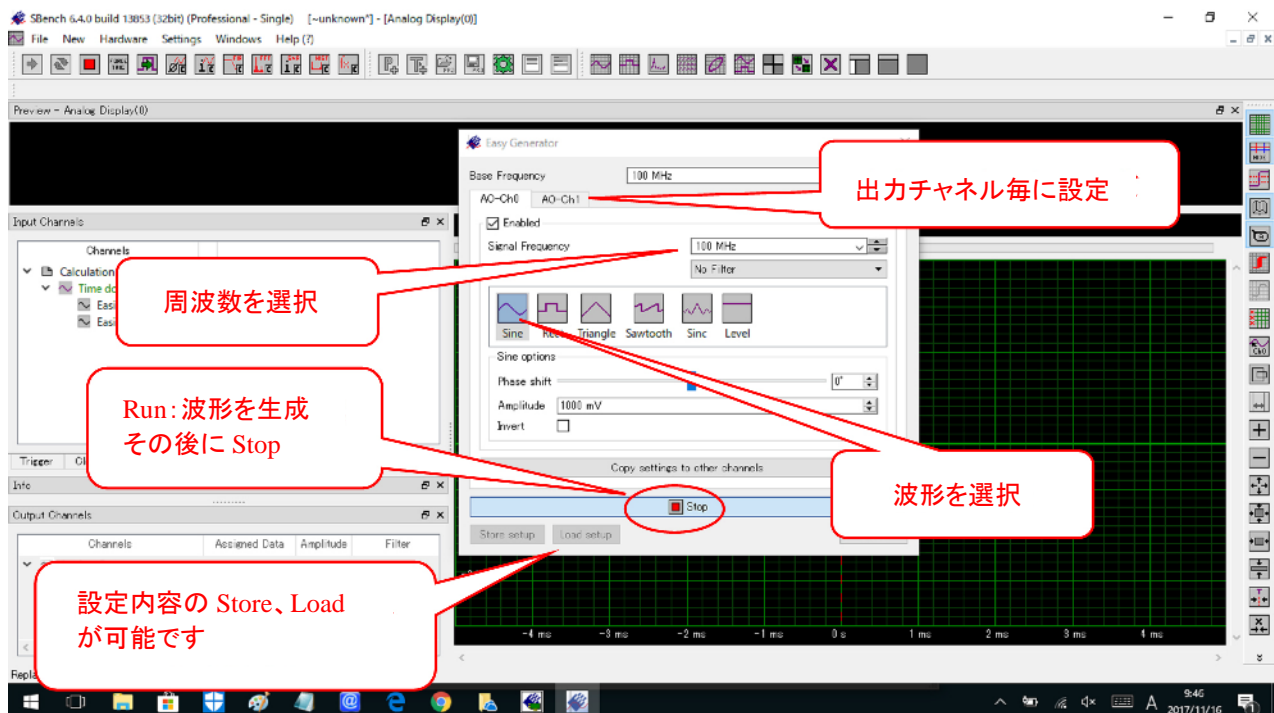


## 7. AWG 波形設定画面

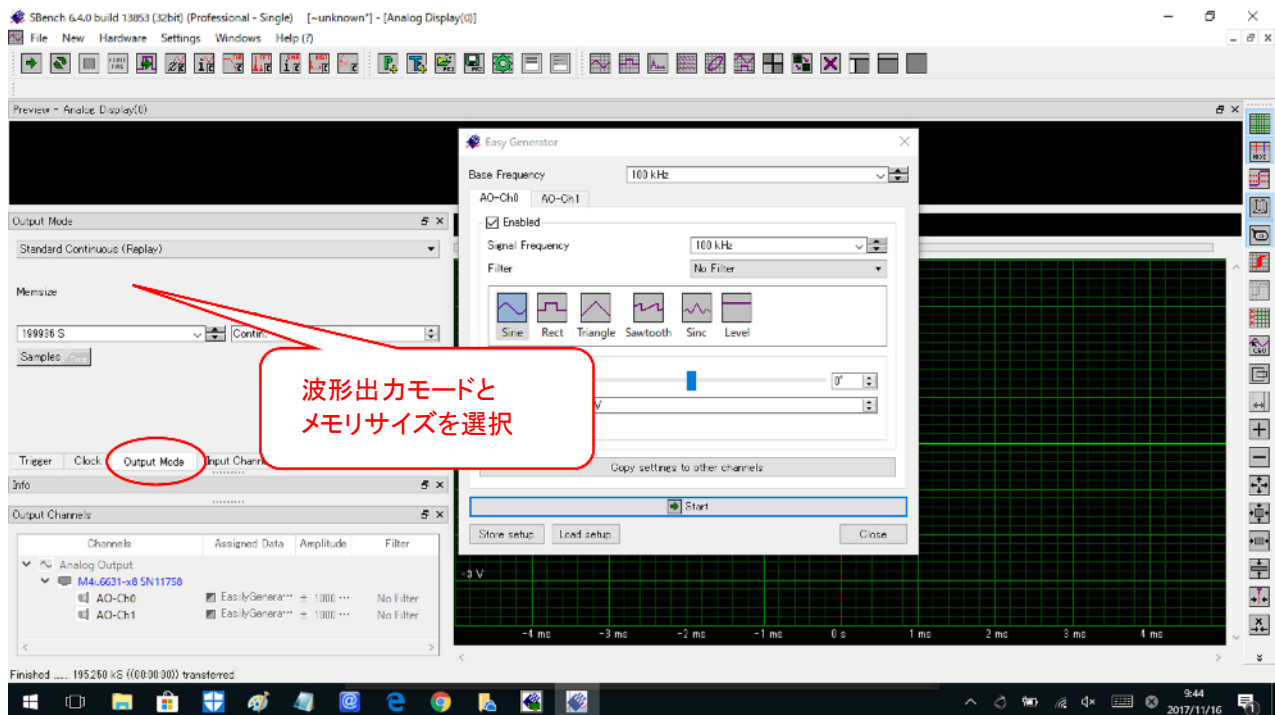
予め用意された「Easy Generator」或いは、任意の波形出力用の「Function」を選択



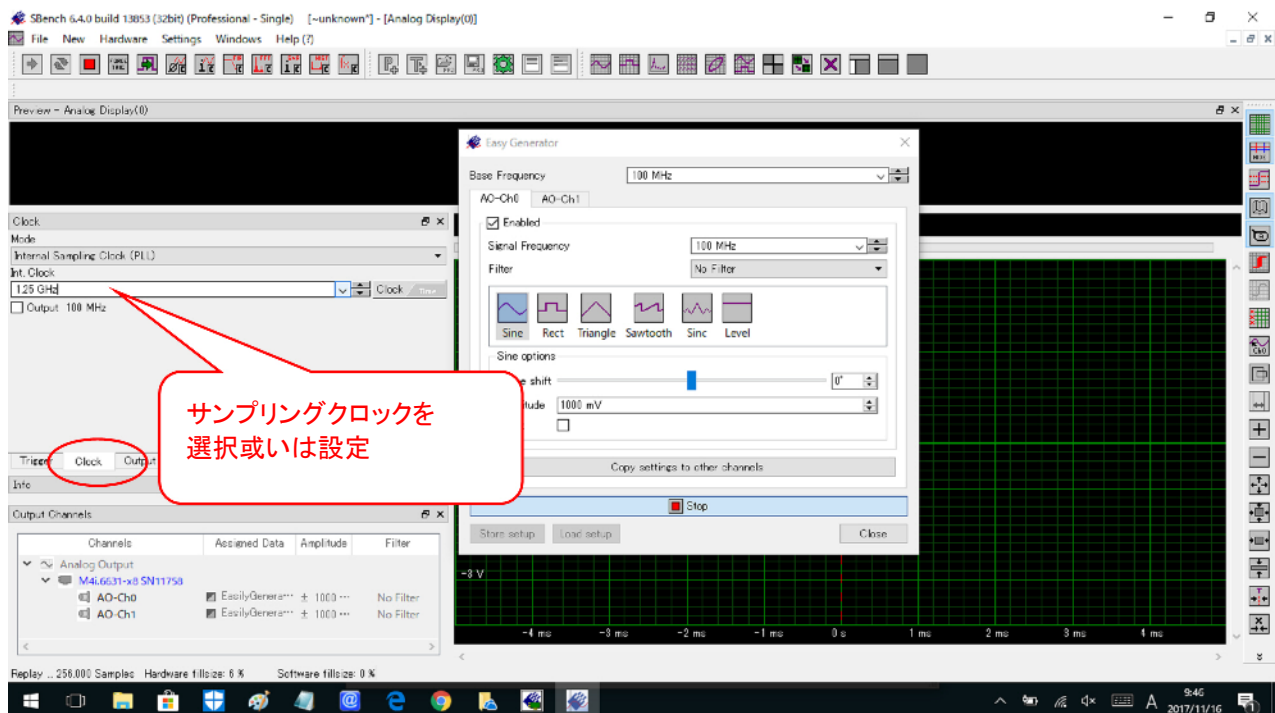
## 8. <Easy Generator の場合> 波形、周波数の選択（周波数の設定は 155.6MHz までです）



## 9. <Easy Generator の場合> 波形の出力モードの選択

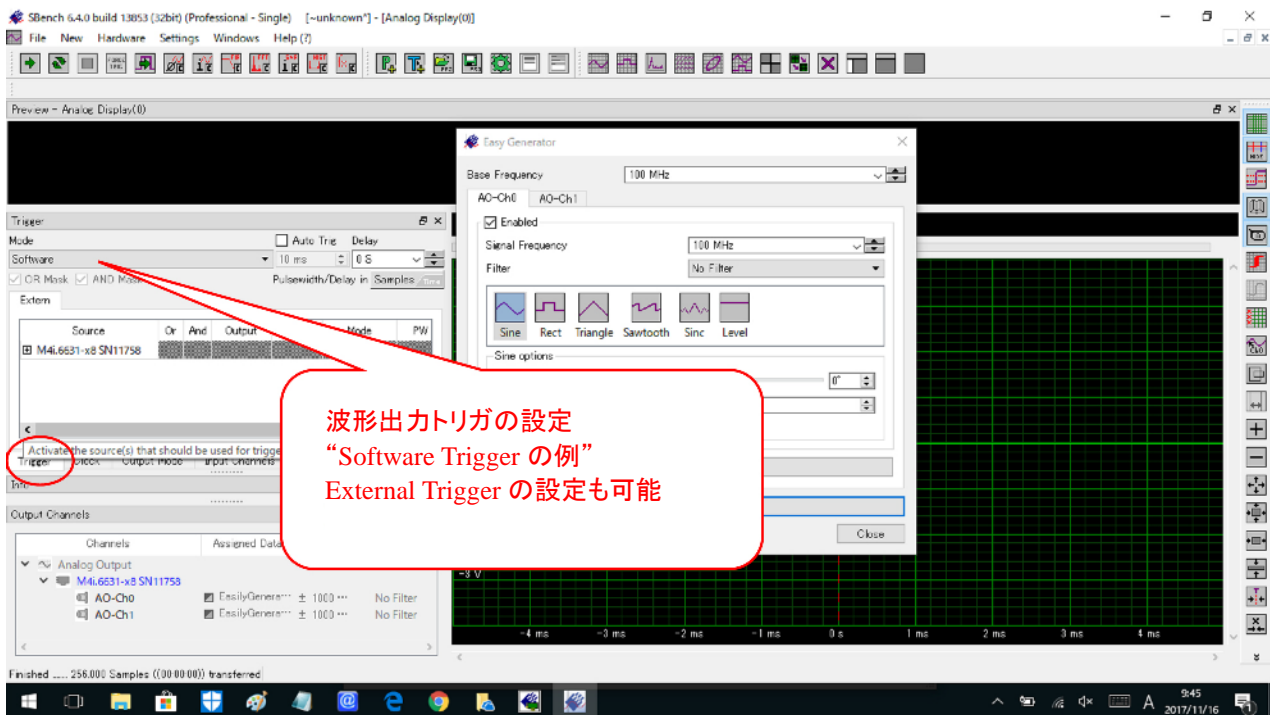


## 10. <Easy Generator の場合> サンプリングクロックを選択或いは設定

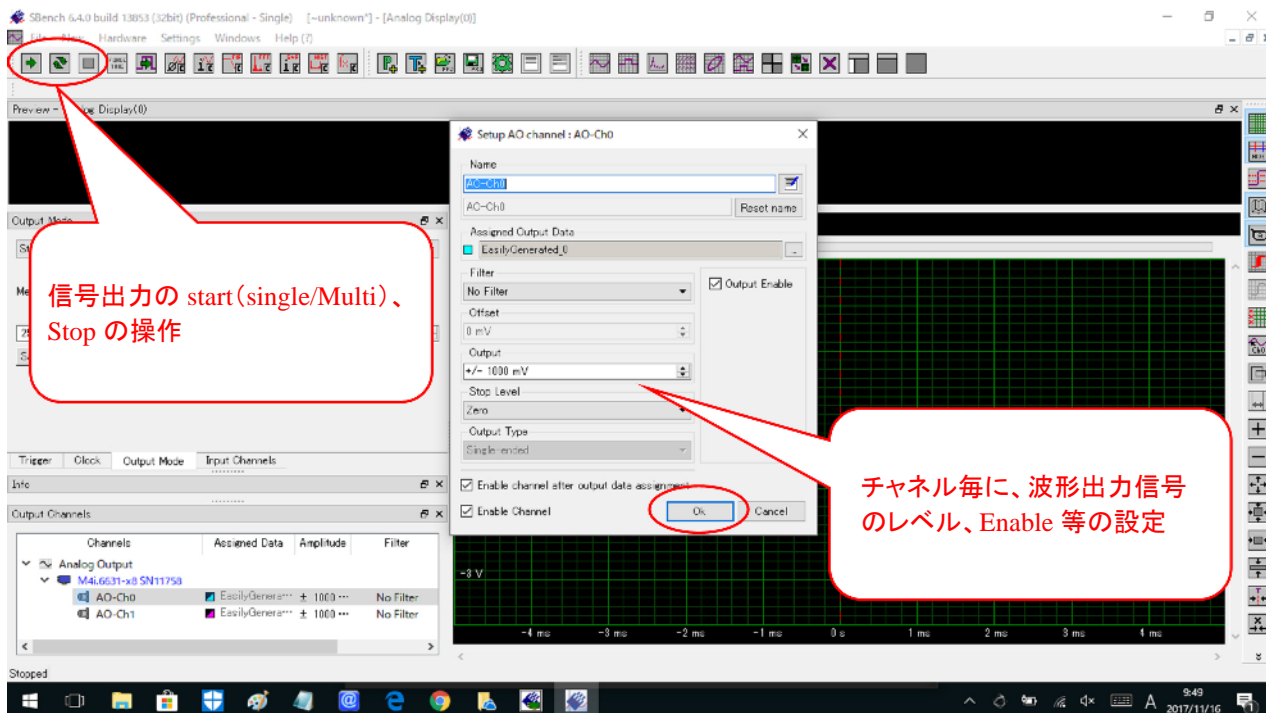




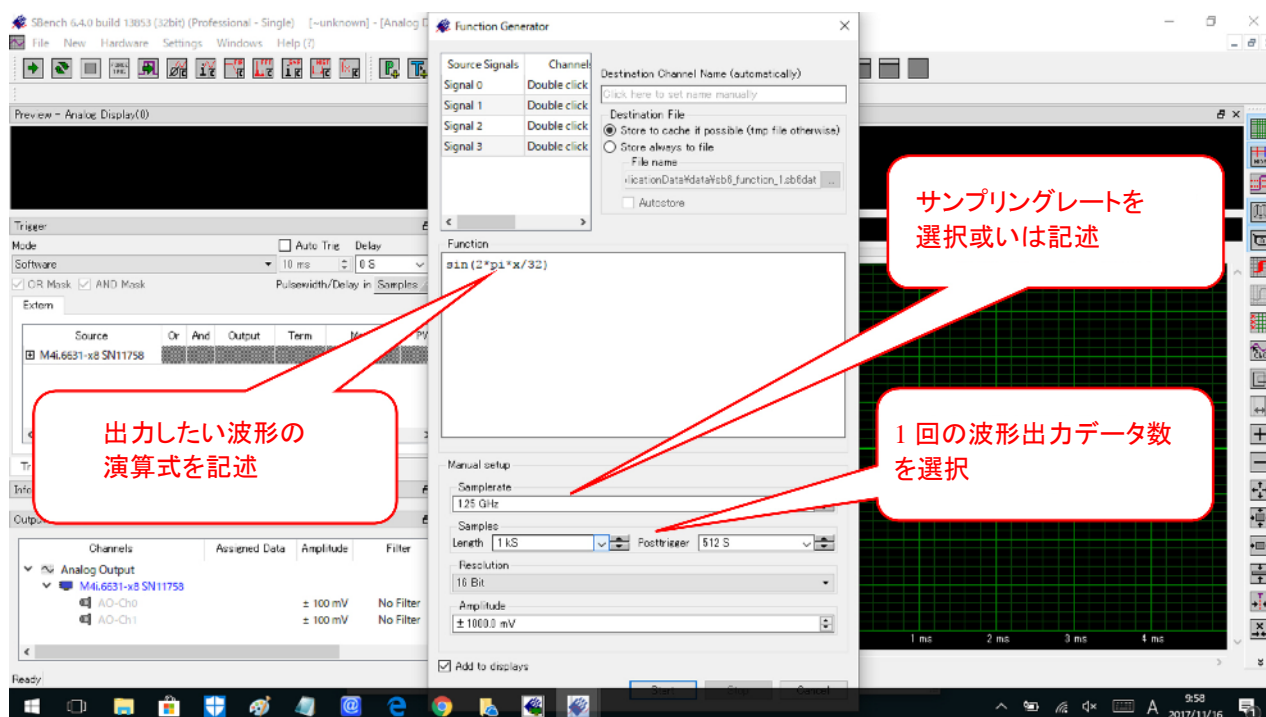
## 11. <Easy Generator の場合> 波形の出力タイミング (Trigger) の設定



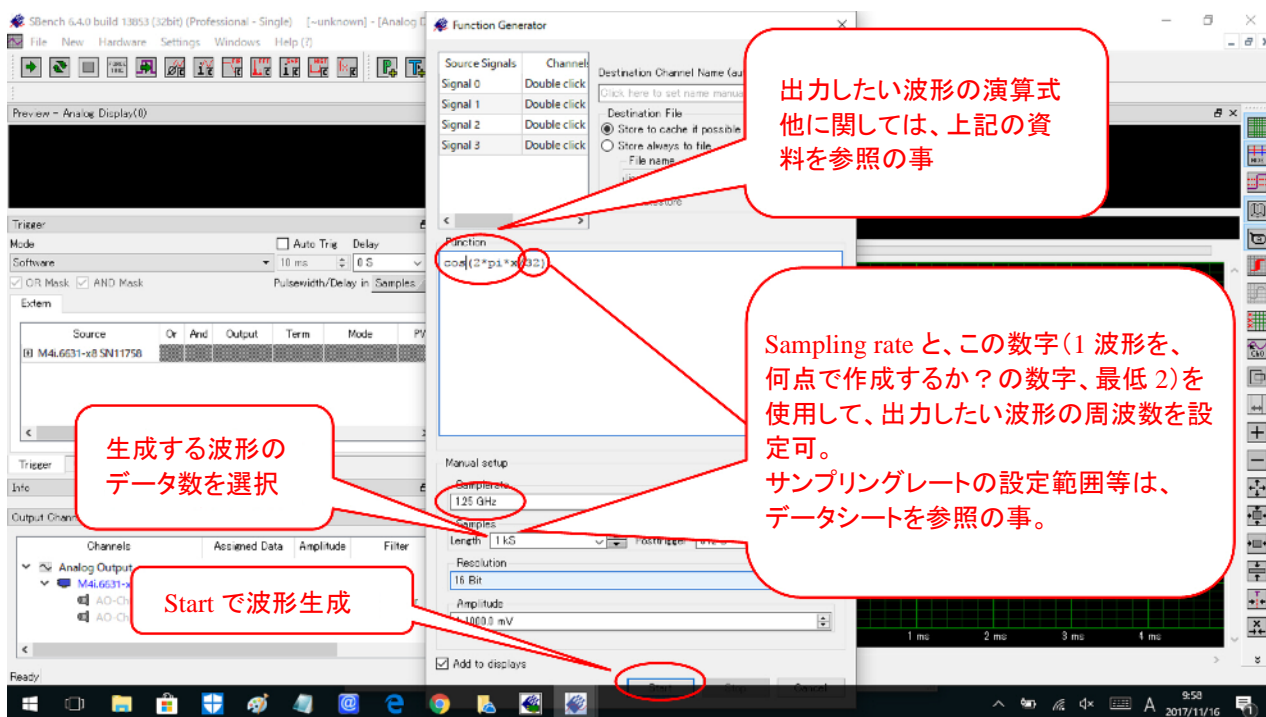
## 12. <Easy Generator の場合> 出力信号のレベルの設定後に、信号出力開始



### 13. <Function 設定の場合> AWG 出力波形の設定画面



### 14. <Function 設定の場合> 演算式と出力周波数に関して 参考資料「an\_creating\_waveforms\_for\_awg」

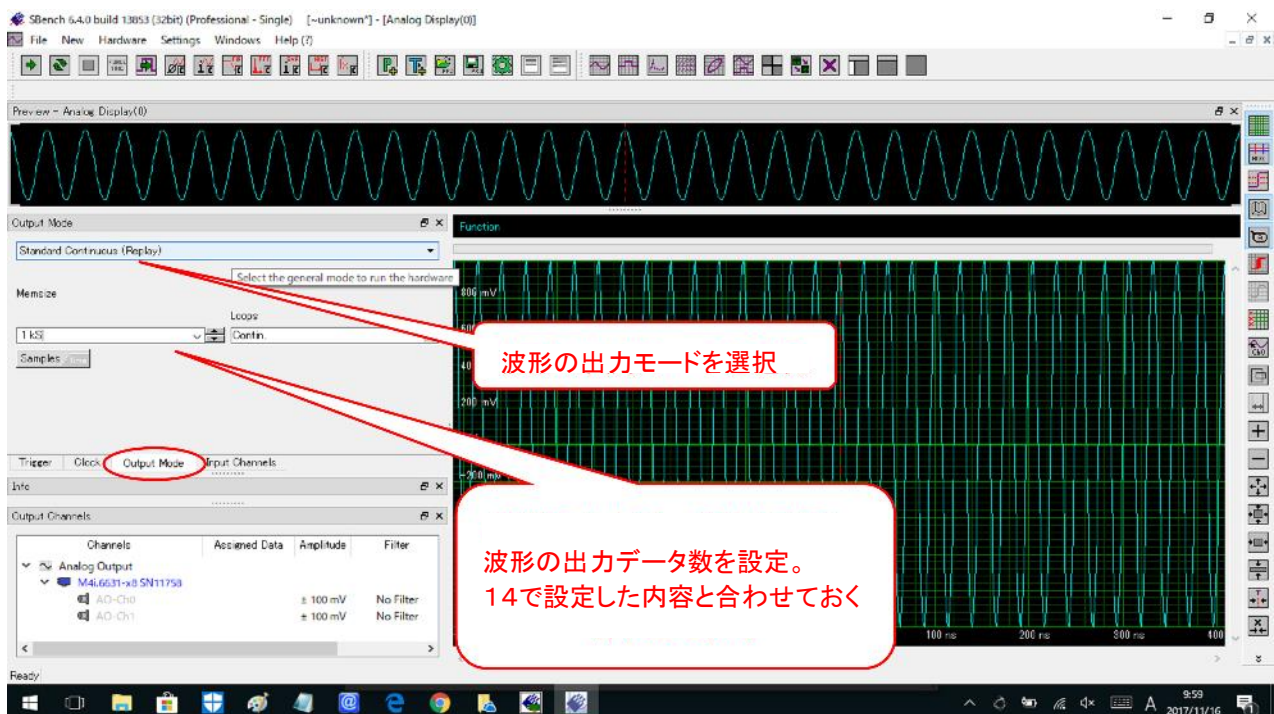




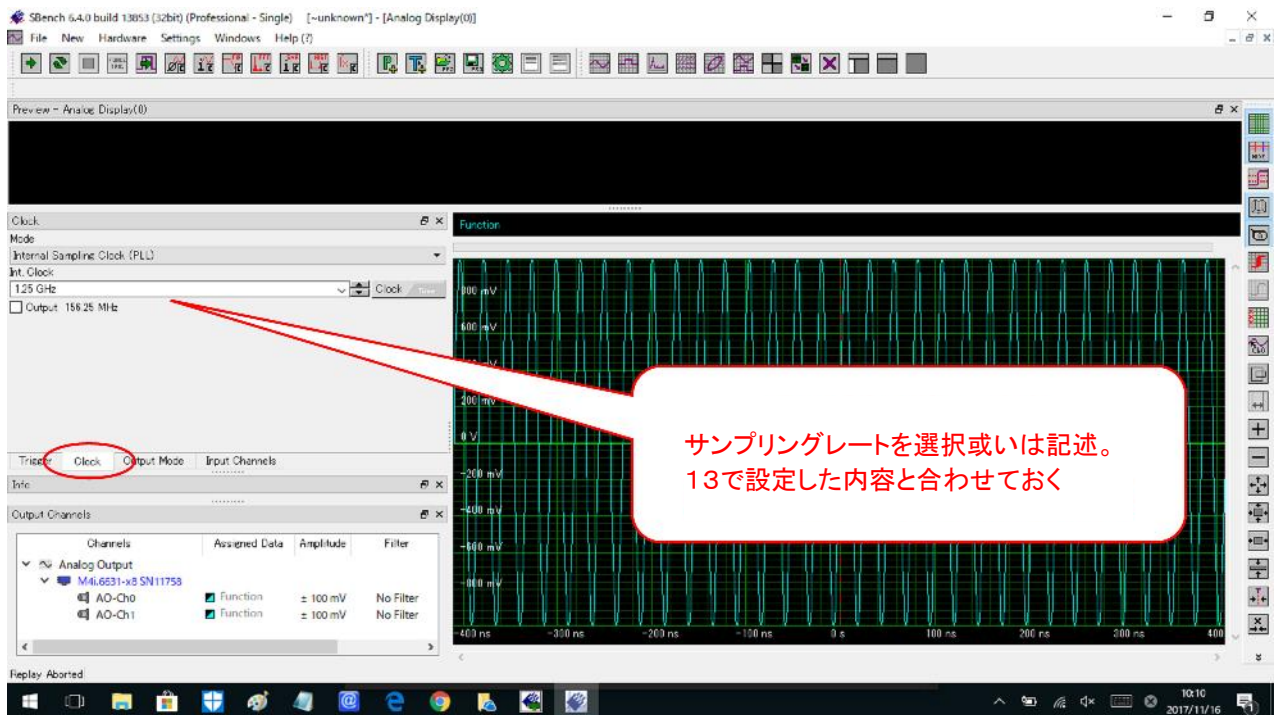
## 15. <Function 設定の場合> Input Channel での生成波形の確認



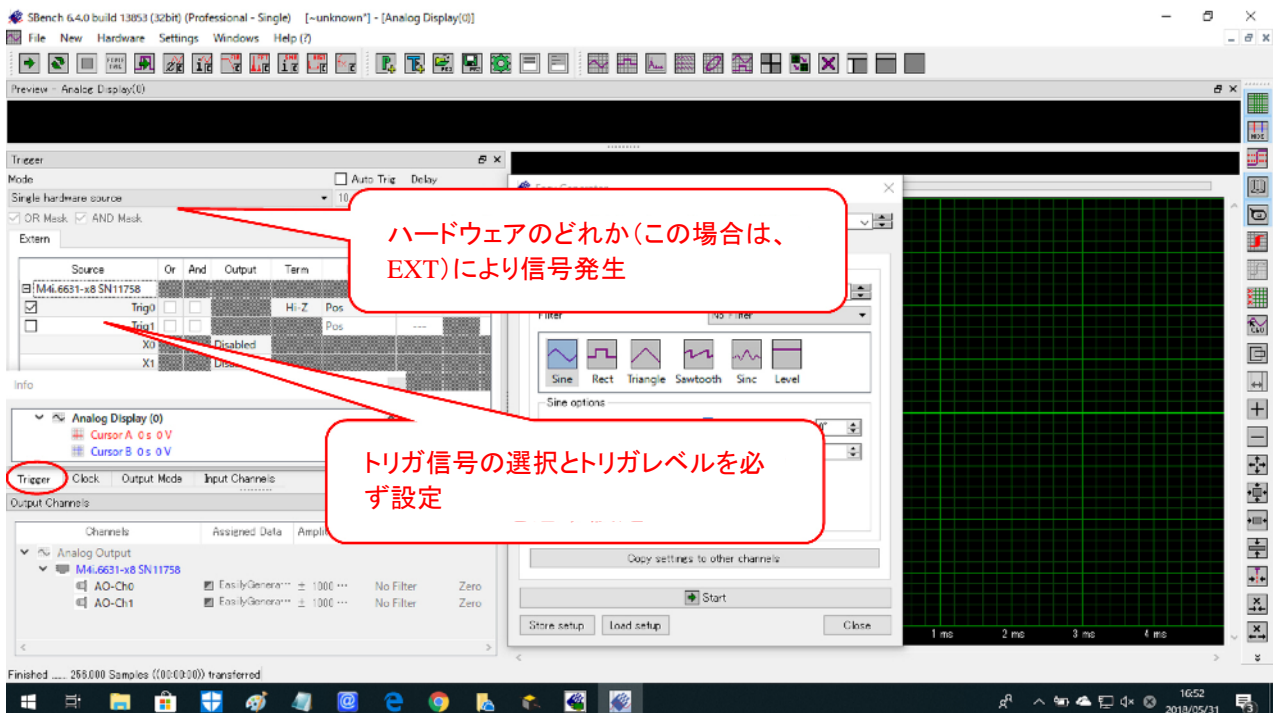
## 16. <Function 設定の場合> 波形出力モードの選択



## 17. <Function 設定の場合> Sampling Clock の選択或いは設定

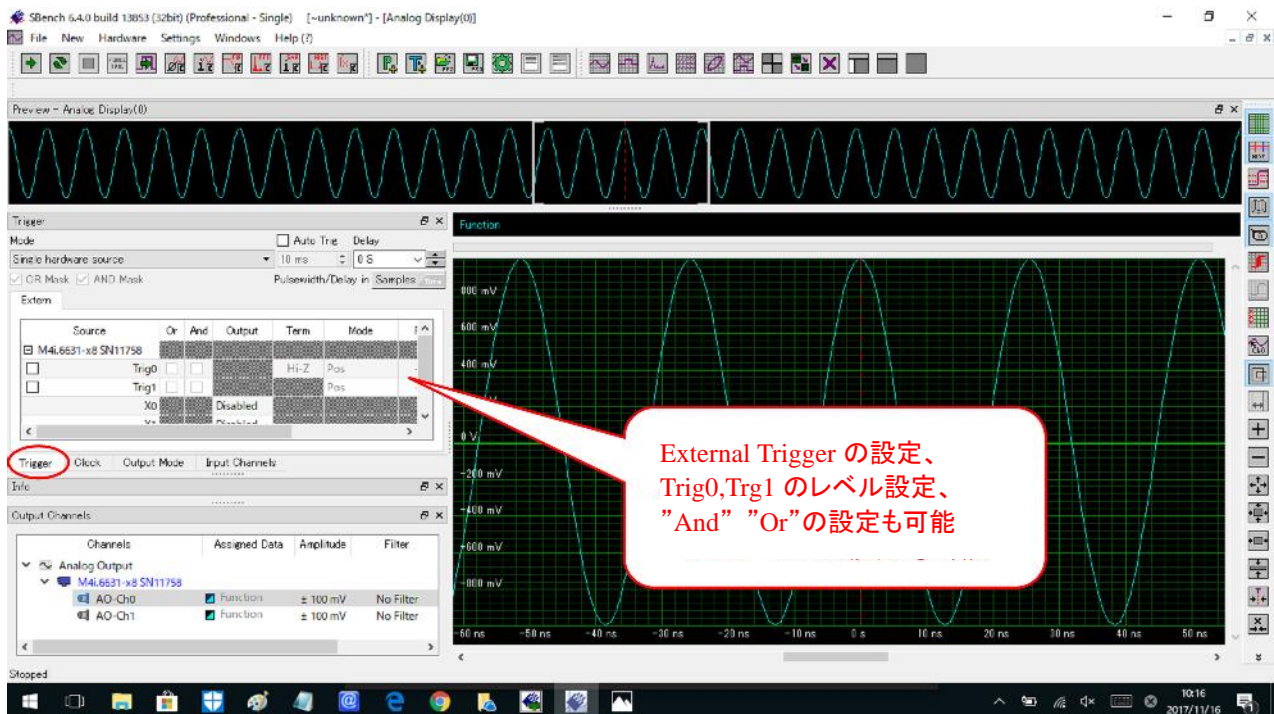


## 18. <Function 設定の場合> 波形の出力タイミング (EXT Trigger の例) の選択

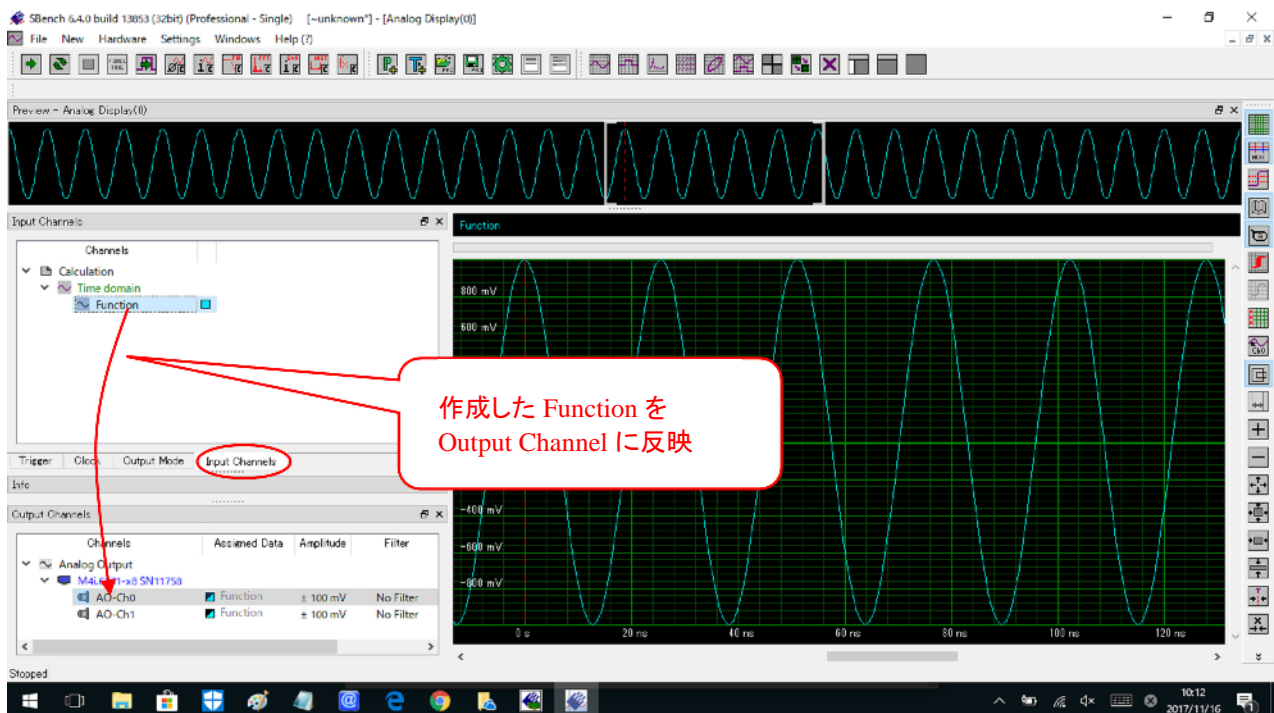




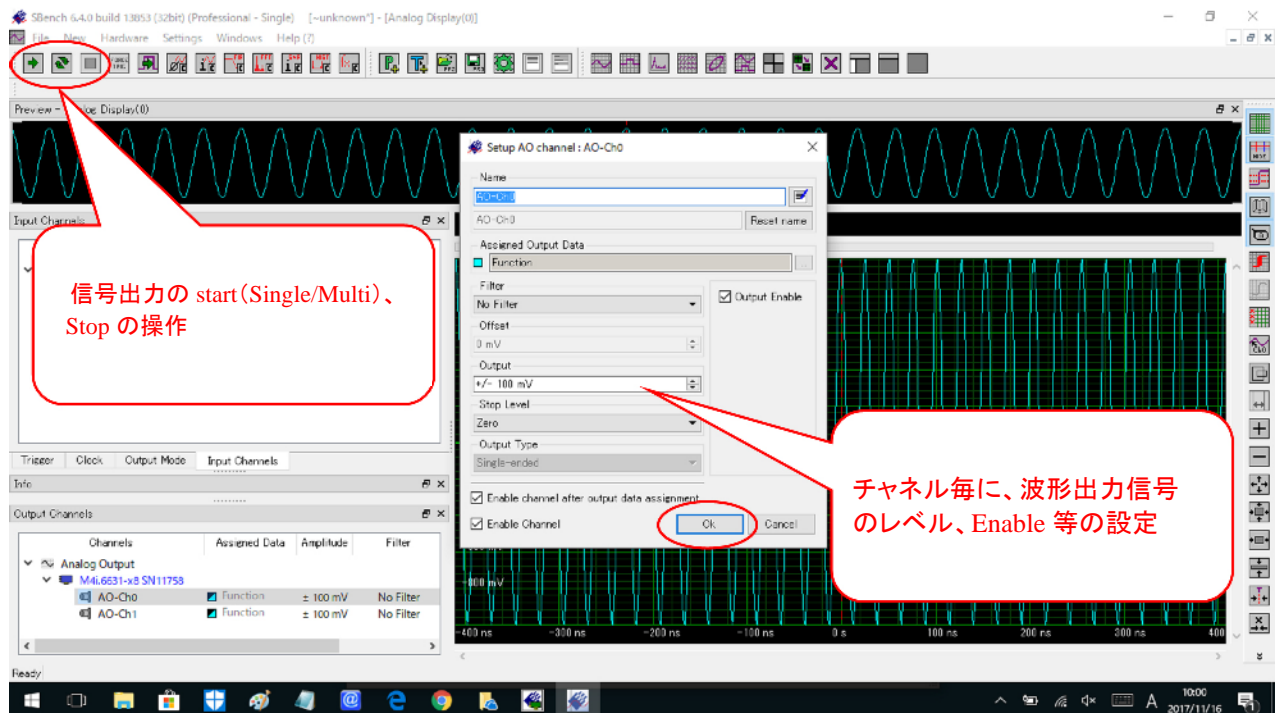
## 19. <Function 設定の場合> External Trigger の設定の詳細



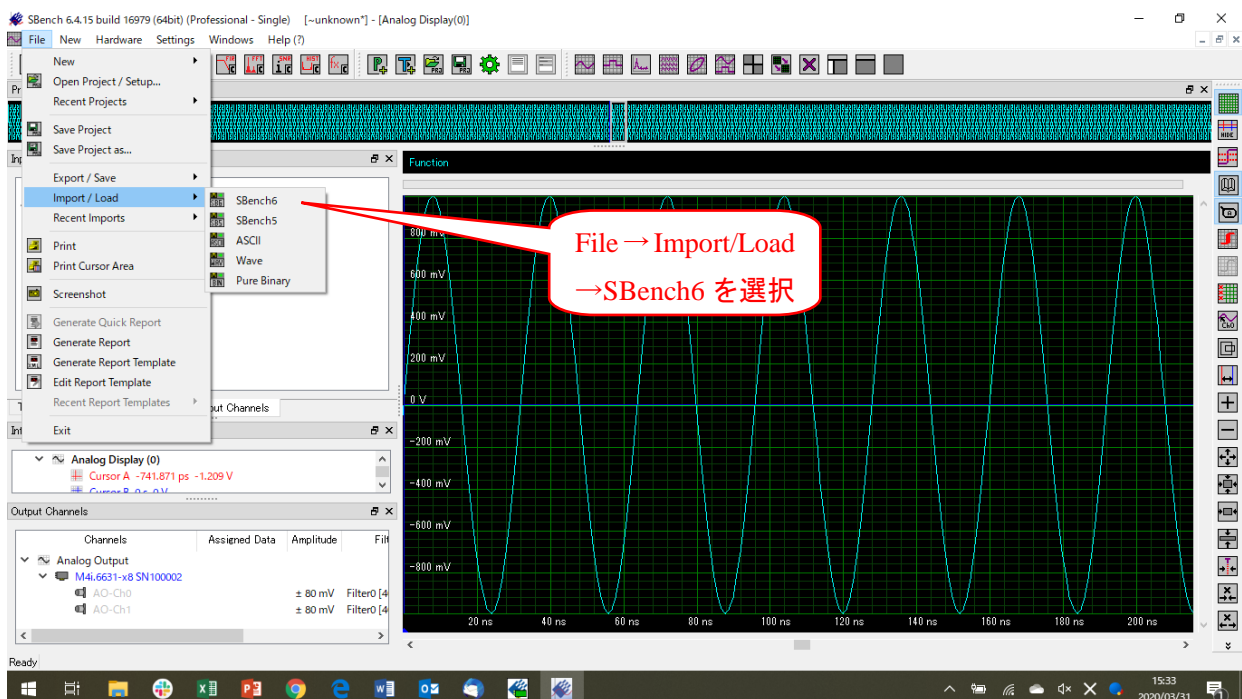
## 20. <Function 設定の場合> 作成波形の出力チャンネルへの反映



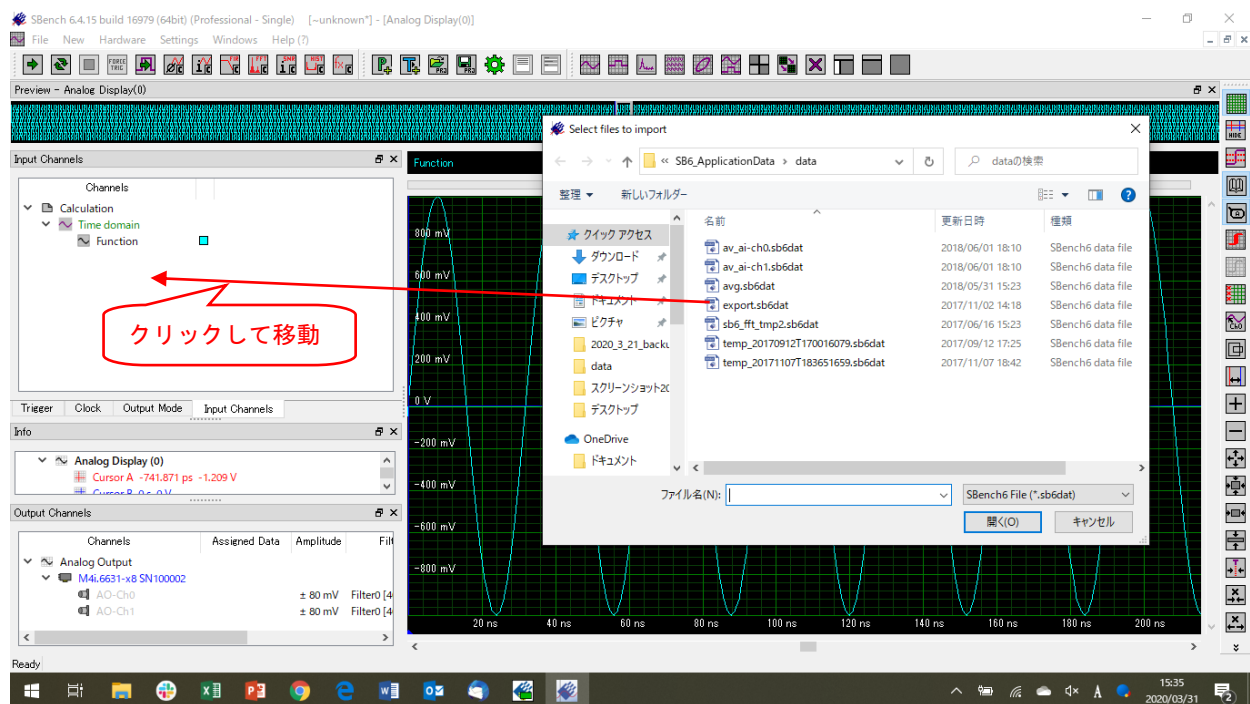
## 21. <Function 設定の場合> 信号の出力レベルの設定後に、信号出力開始



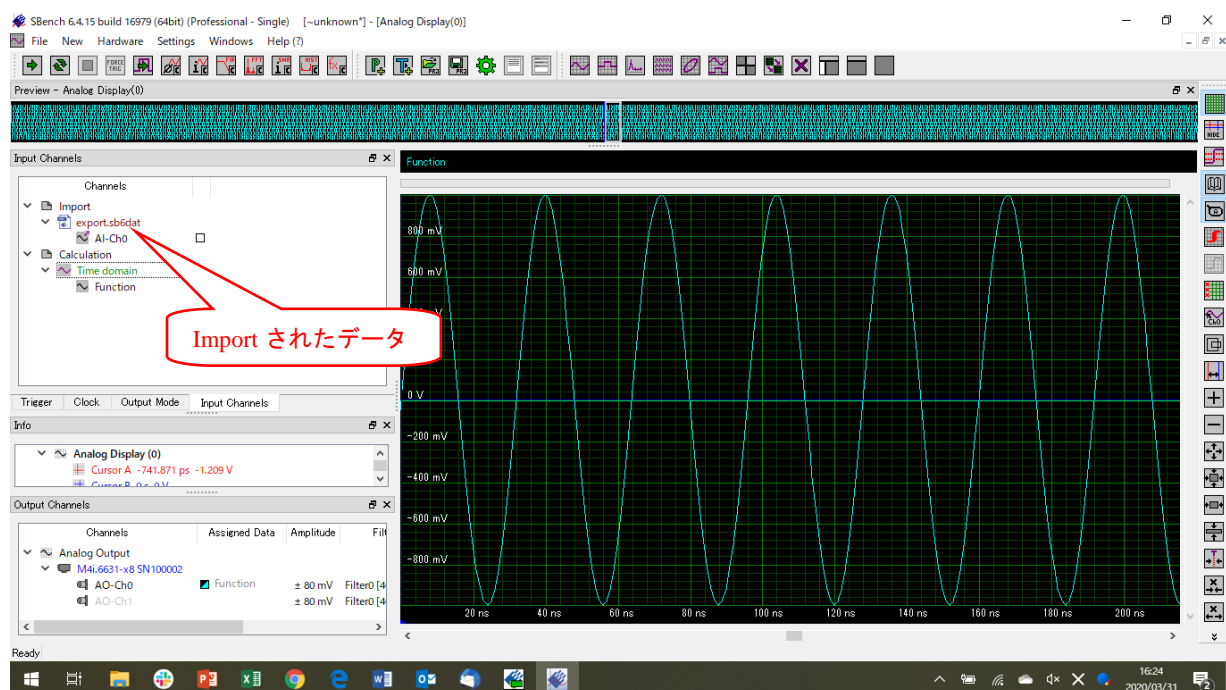
## 22. 別に格納された Export data (SBench6 フォーマット) の Import



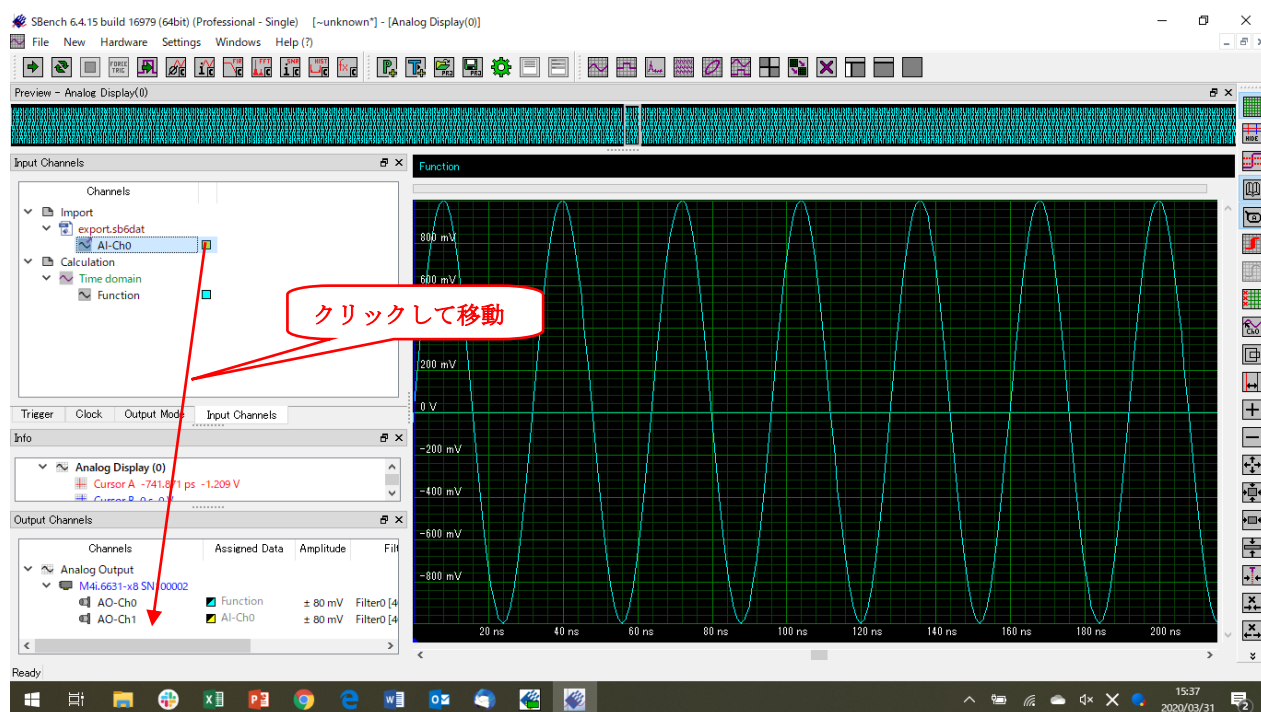
## 23. 別に格納された Export data (SBench6 フォーマット) の格納場所



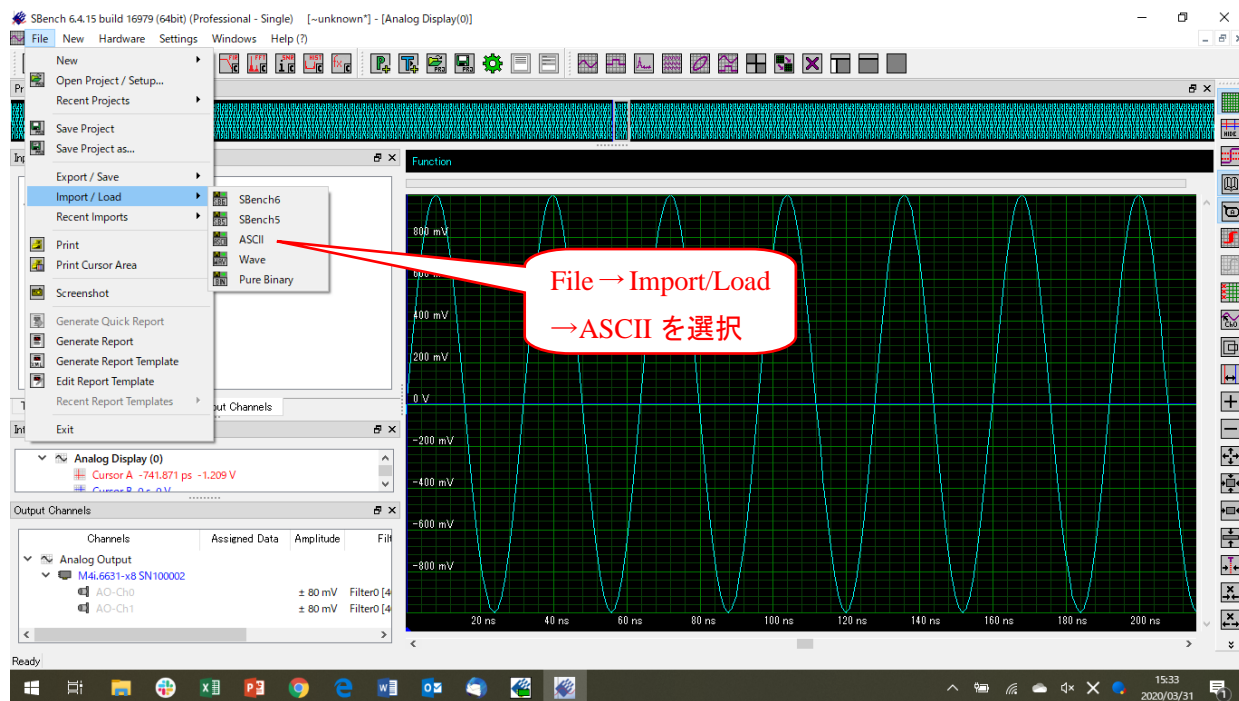
## 24. 別に格納された Export data (SBench6 フォーマット) を入力チャンネルに登録



## 25. 別に格納された Export data (SBench6 フォーマット) を Output Channel に登録

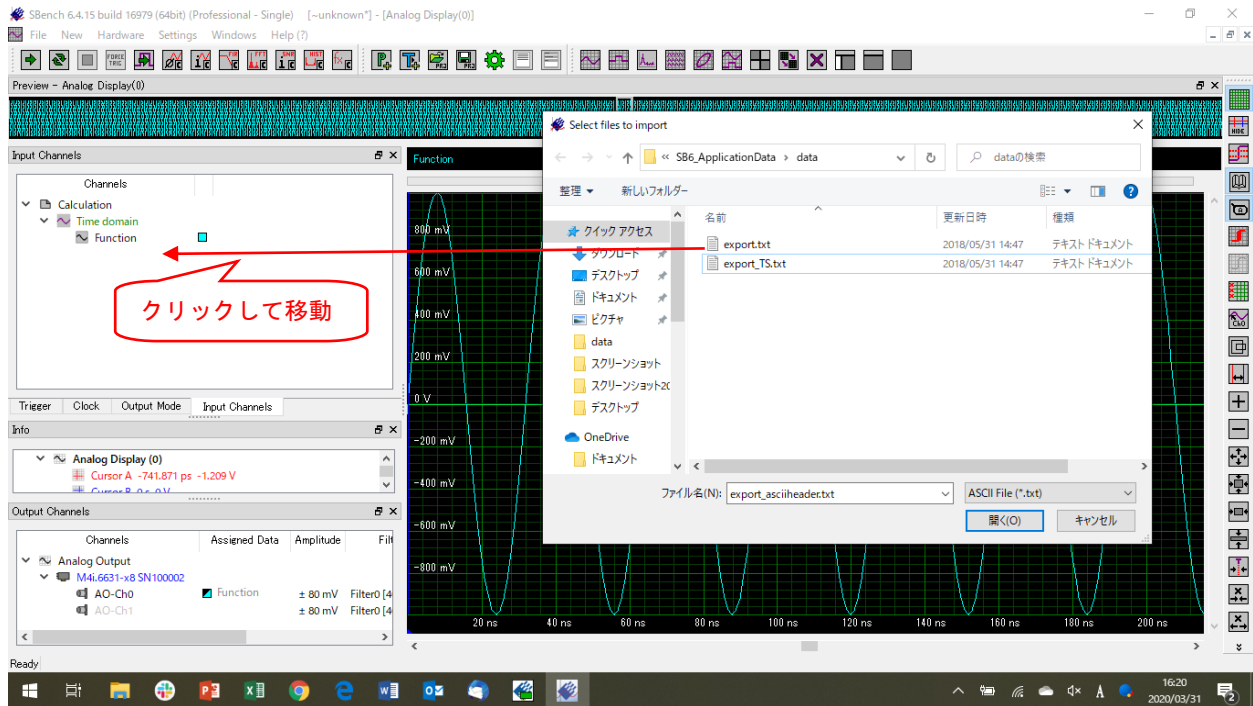


## 26. 【Pro】別に格納された Export data (ASCII フォーマット) の Import

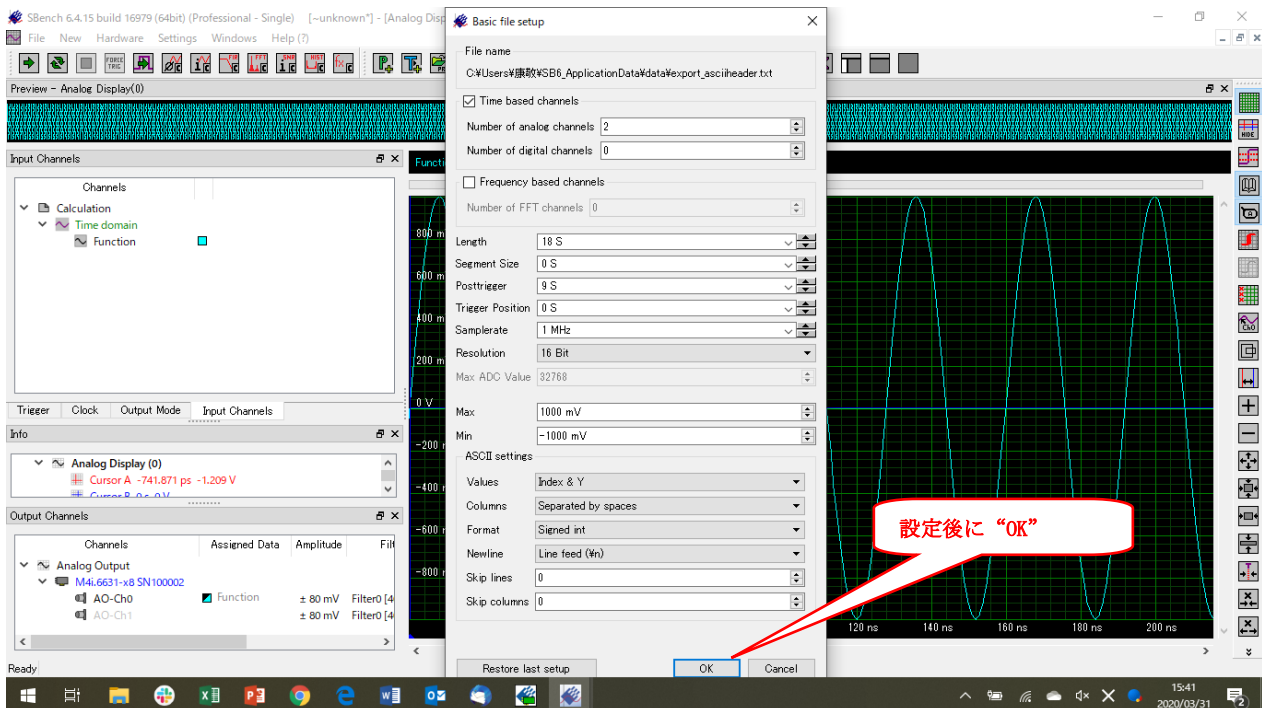




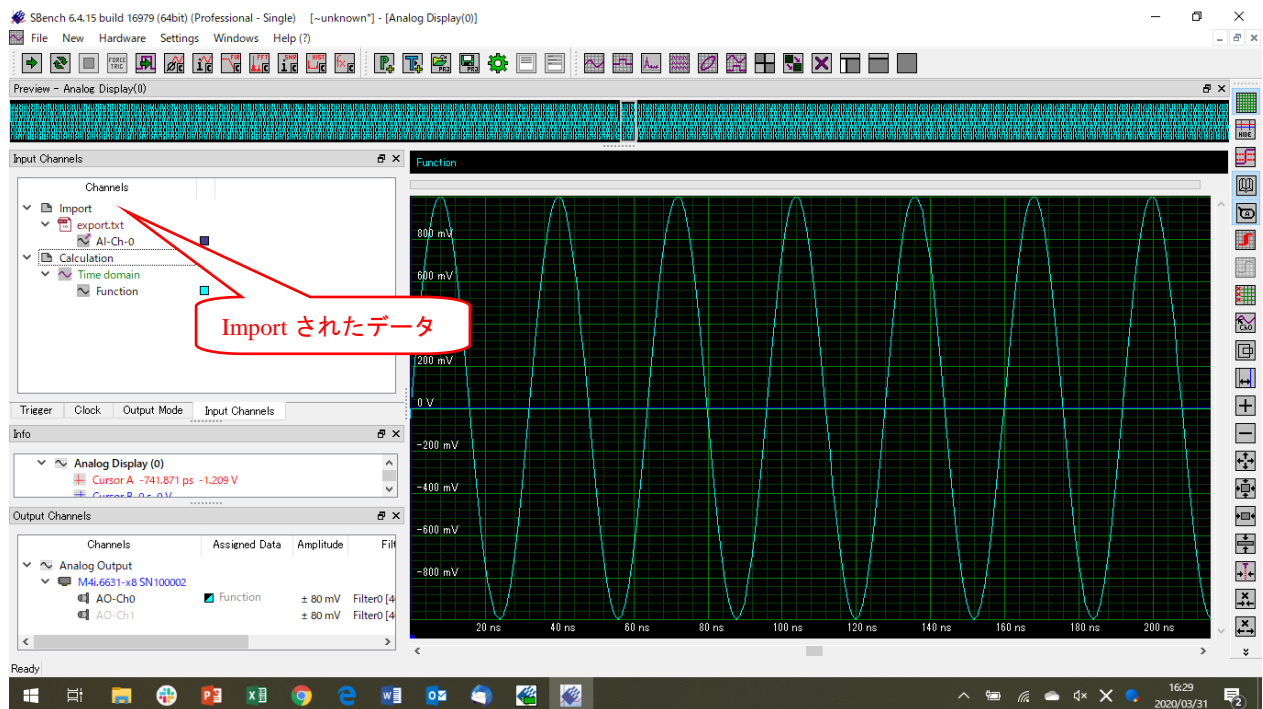
## 27. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)の格納場所



## 28. 【Pro】別に格納された Export data(ASCII フォーマット)を入力チャンネル登録するためのセットアップ



## 29. 【Pro】別に格納された Export data (ASCII フォーマット) を入力チャンネルに登録



## 30. 【Pro】別に格納された Export data (ASCII フォーマット) を Output Channel に登録

